

動脈硬化危険度

- 検査値のもつ重要度をわかりやすくするため、**メタボリックシンドローム**に**関係のある項目をピックアップ**して示した。

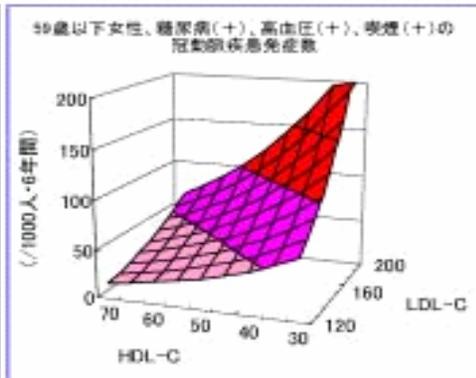
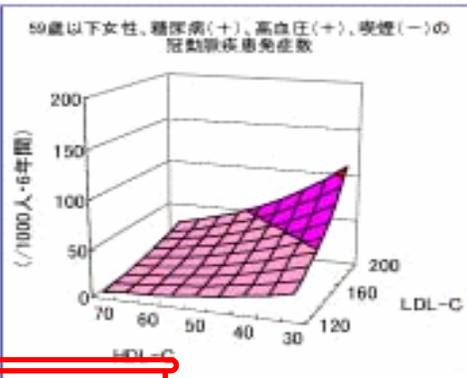
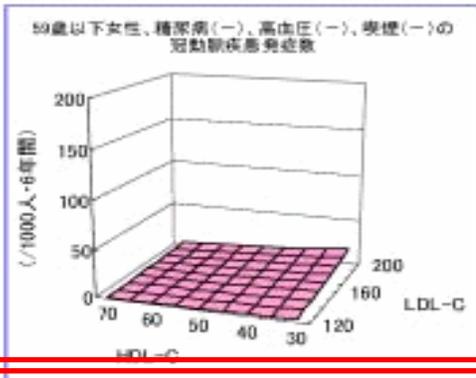
あなたの動脈硬化に関する調査



HOMA：インスリンの働きが低下（抵抗性）を反映します。この数値が高いと、動脈硬化を起こしやすく、臓器への負担が大きくなります。

下記の3つのグラフは6年間に冠動脈疾患を発症する頻度を性別、年齢別、主要危険因子（糖尿病、高血圧、喫煙）の有無、LDL、HDLの値から示したものです（J-LITチャートより）。

同じコレステロール値でも糖尿病、高血圧、喫煙などの危険因子が重なると、発症率が高くなります。また、危険因子が重なる場合、高脂血症の程度が発症率に影響することを示しています。



(J-LITチャートより)

- **疫学データから、リスクの重なりと心血管疾患の関係を示した。**